

その他資料 2

就園前の子育て支援に関するワークショップ実施報告書（案）

平成 31 年 月 生駒市

目次

1	ワークショップ開催概要	1
2	各ワークショップの内容	2
2.1	第1回目	2
2.2	第2回目	13
2.3	第3回目	20
3	まとめ	26
	資料	29

1 ワークショップ開催概要

●趣旨

1. 就園前の子育てにおけるそれぞれの立場の保護者のニーズを把握する
2. ニーズに対応した支援のあり方について考える
3. 地域住民等が主体となった支援の取組の具体化に向けたきっかけとする

●参加者

保護者，地域住民，保育・教育関係，市民団体など 20 人程度

●ワークショップの実施概要

第 1 回目

日時：平成 30 年 12 月 3 日(月)9 時 30 分～11 時 30 分

場所：生駒市コミュニティセンター 会議室

第 2 回目

日時：平成 30 年 12 月 20 日(木)9 時 30 分～11 時 30 分

場所：生駒市コミュニティセンター 会議室

第 3 回目

日時：平成 31 年 1 月 9 日(水)9 時 30 分～11 時 30 分

場所：生駒市コミュニティセンター 会議室

2 各ワークショップの内容

2.1 第1回目

(1) 目標

- ・ それぞれの立場から、ニーズや課題を確認する

(2) ワークの内容

- ・ 支援のニーズや課題の出し合いと整理
※グループは立場別(保護者, 地域住民, 保育・教育関係, 市民団体)に編成

(3) プログラム

- ・ 開会
- ・ ワークショップの趣旨説明
- ・ プログラムの説明
- ・ コーディネーターからのアドバイス
- ・ グループワーク
 - ・ 自己紹介
 - ・ 支援のニーズや課題を出し合う
- ・ グループ発表
- ・ コーディネーターからのコメント
- ・ 閉会・アンケート記入

(4) 出されたニーズや課題

グループA(保護者)

●情報収集

- ・ 一時保育、園によって違いがあるけど一気に説明会があれば助かる
- ・ 保育園、幼稚園の募集の流れなど説明を聞ける機会があれば
- ・ 情報を一度に
- ・ 交流の場もかねて情報提供してもらえたら一石二鳥

●施設(ハード)の要望

- ・ 図書館の横(つづきで)みっきみみたいな施設がほしい
- ・ 生駒の絵本作家の、公園か施設がほしい(福井のカコサトシ館)
- ・ トランポリンが欲しい(公園の中に)
- ・ 就園児と未就園児と一緒に遊べる室内施設がほしい

●イベントの要望

- ・ 託児付きのイベント増やして欲しい
- ・ 乳がん検診、市民検診を託児付きにしてほしい
- ・ 1歳になって以降のイベントがあったら嬉しい(ゆうゆうひろばみたいな)
- ・ てくてくのイベント定員が少ないので同様のものとか…

●悩み

- ・ 参加してもうまく場になじめず、次から参加しなくなる人もいる
- ・ 参加しやすくなるようなサポートやキャッチフレーズがあればもっと参加者が増えると思う
- ・ 地域(近所)のママともっと交流したい
- ・ みっき：最初は知らない人ばかりで行くのがしんどい
- ・ サロン：人見知りだとうまく話せない
- ・ 新しいママ友ができにくい
- ・ 輪ができていと入りにくい時もある
- ・ フォローや初めての人でも参加しやすい工夫がほしい

●地域のママ友との交流

- ・ おばあちゃんと子育て親子がお茶をのんでゆっくりできる場所がほしい
(←京都であった 上京区)
- ・ 幼稚園に入るまでに、幼稚園になれさせる場を学区内に欲しい
- ・ 地域ごとの集まりが欲しい
- ・ 近所にそれぞれ自治会館があるのに子どものイベントがなさすぎる(せつかく近くで行きやすいのに)

- ・ 使っていない自治会館もったいないので子育てのイベントなどがあれば
- ・ 住む地域によって偏り．自分の住んでいる近くはない…とか
- ・ 近所に同世代の子がいるのに，その人たちはみっきで見かけたことがない

グループB(地域住民)

●場所

- ・ リスクがあるので専用の場所あった方がいい
- ・ 預かり保育！
- ・ 子供を急遽あずかってくれる場所(美容室とかに行きたいから等々)
- ・ 公共性のある場所
- ・ 実家の様な場所
- ・ 実家のかわりになる場所！

●人

- ・ ボランティアの熱量
- ・ 高齢者の活用！託児所
- ・ ボランティアのむずかしさ

●情報

- ・ 個人情報のカベ
- ・ SNS と発信力
- ・ スマホを使用して発信する
- ・ 個人情報の公開と共有のルール！
- ・ つながりと個人情報
- ・ SNS メーリングリスト作成
- ・ 自治会の力

●つながり

- ・ 出てくることができない人の理由は？
- ・ 寺子屋(地域の教育システム)
- ・ 教への伝承
- ・ 市全体で行えること
- ・ 地域の知！を共有する
- ・ 子育ての横のつながりを考える
- ・ 参加できない人をどの様にして探すのか？

●その他

- ・ 経済・場所・時間
- ・ 支援が近くにあれば
- ・ 善意の方向性が一致するのか？
- ・ 子供づれ・メンタルの余裕・忙しい・車ない
- ・ 食事の用意・近く・いつも

- ・ 方向性の統一

グループC(保育・教育関係)

とかいなかイコマ

●市民

- ・ 教育熱心な人が多い
- ・ 子どもには関心がある人が多い(ボランティア活動をする人, 保護者)
- ・ ボランティアが活発
- ・ 子連れでいると町中で声をかけてくれる人が多い

●ママ

- ・ 有能な技術をもったママが多い
- ・ ひとりぼっちで子育てをしているママが多い
- ・ 外に出にくい親子がいる
- ・ 育児サークルに参加してくれない
- ・ 育児サークルが育ちにくい
- ・ 遊びに行ける場所(みっき, 園庭)などを知らない保護者の方が多数いる

●パパ

- ・ イクメンが多い(様な気がする)
- ・ パパは大阪へ行って昼間(母子カプセル)
- ・ パパが参加できる
- ・ パパにプラレールひろば良い

●幼児～子ども

- ・ 仕事をしている為, 土・日曜日にみっきランドに連れて行きたくても0~2なので行けなかった(雪の中行ったけれど, 4才がいたのでダメだった)
- ・ 2歳児の行きやすい場所, 室内広場が少ない
- ・ 中学生まで医療費控除
- ・ 小中学生の居場所が少ない
- ・ 乳幼児限定でなく兄弟一緒に遊べる場所がない
- ・ 校庭を全ての子どもに開放して!! ↓

●施設

- ・ 子どもの病院が多い
- ・ 0~2才の子どもが利用できる施設が少ない
- ・ 支援が中地区にかたよっている
- ・ 子育てに困っている保護者の方を早く見つけることができるようになった(行政の方にもつなげられる)

- ・ 地域の公民館がお年寄しか使えない
- ・ ベルテラスを活用してほしい
- ・ 図書館充実
- ・ 土・日もみっきは空いている.
- ・ それぞれの住んでいる地域で集まれる場所(公民館など)を open にして保護者にほっとする場所を作ってほしい

●行政

- ・ 行政の方が子育てに関して目を向けて下さるようになった
- ・ 子育て支援が手厚い
- ・ 0~1歳 市の広場や講座たくさんあって友人づくりできる
- ・ 幼稚園・保育園でも先生たちの想いが厚い
- ・ 子ども課対応バラつきがある(返事あいまい, そっけないなど)
- ・ 1つの窓口で色々聞けるところがない→ファミサポもアズママも同じように説明できるとか
- ・ 保育園 0才待機中, 兄弟加算は同園しかない
- ・ 保健課, 子育て支援など同じようなプログラム(教室)が重なって並んでいる. 市としてタテに行事を

●公園

- ・ 草ボーボーの公園多い
- ・ 公園が少ない
- ・ あつまれる公園がない
- ・ 親水公園がない
- ・ 町中の公園に人がいない(道具少ない)
- ・ 使用されていない公園が多数ある. お母さんお父さんが子どもをつれて気軽に行ける場所に！！

グループD(市民団体)

●年代のギャップ

- ・ 年代のギャップ(母親)

●親が大人と話せる機会

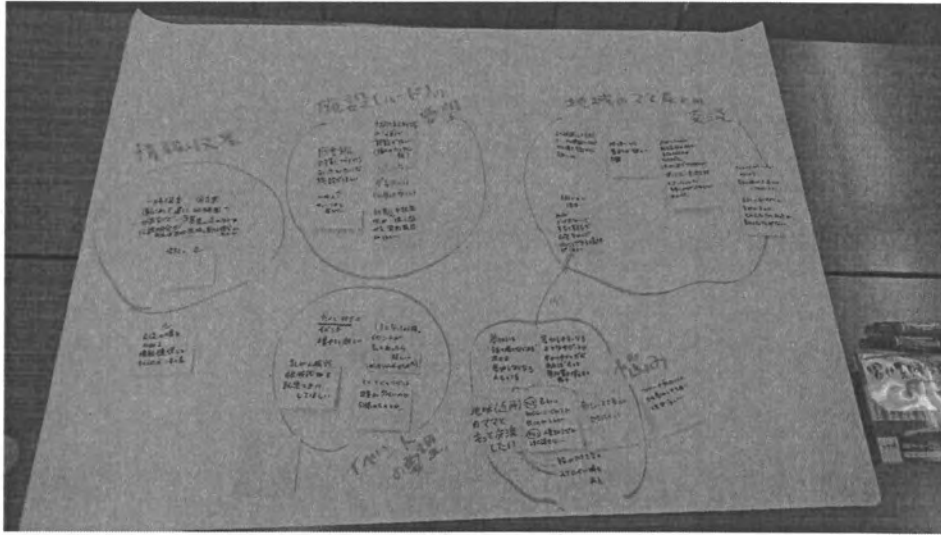
- ・ 親が大人と話せる機会(子どもを預けて)
- ・ 生活支援相談の増加傾向, 相談員の人員不足(相談実績)2882件(H29)
- ・ 保育園入園に関する相談が多い
- ・ 少し母が1人になれる場所が必要
- ・ 子どもから離れてほっとできる場所を求めておられるのではないかと?
- ・ 親がリフレッシュできる場所
- ・ 気軽に立ち寄れる場所
- ・ 子育てしている中でちょっとした悩み!
- ・ 母親が話しやすい年代別のグループの場(相談しやすい)
- ・ 相談の多種多様化
- ・ 近所で子育てしている仲間, 友達がいない
- ・ 人との関わりが難しい保護者増
- ・ 園庭開放等ひろば的なものに出てくることのできない親子をどう拾っていくか?
- ・ 待機児童が減らない中, 保育園に入れなかった親子はどうしているのか?
- ・ 事業(教室やひろば)に参加されない方とのつながり

●体験の共有

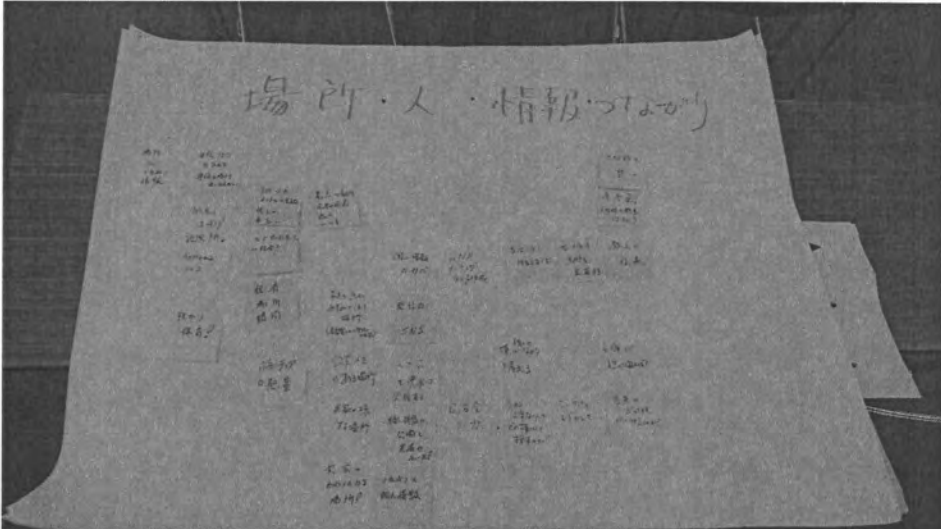
- ・ 0才からのコンサート etc. 他事業とのコラボ
- ・ BPプログラム(生後5ヶ月まで)
- ・ 子育てに対する情報がどこにあるのかが分かりにくい
- ・ みっきランドを拠点に情報発信
- ・ 父親の情報収集できるもの
- ・ 併行通園, 連携強化必要. 幼, 保, こども園との連携(就園前ではないが)
- ・ 過保護というよりか干渉されている感がある
- ・ 正解を求める生徒が増えている
- ・ 子どもの年齢・母親の年齢
- ・ 場所, 時間の制約
- ・ “普通になりたい”親が多い
- ・ お母さんたちのニーズが反映しづらい
- ・ 子育て支援にかかわりたくても人手的に難しい. 地域の手が必要
- ・ 人手不足

(5) 成果

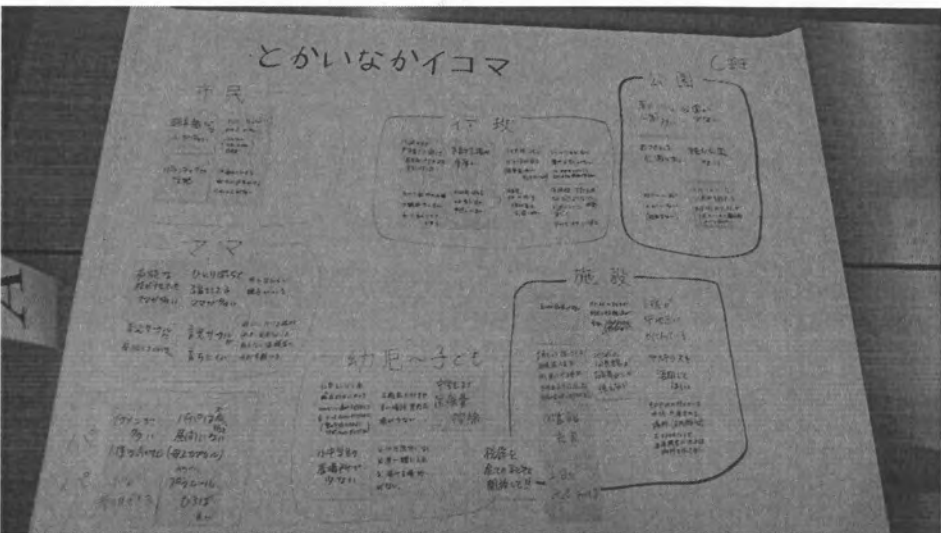
グループA(保護者)



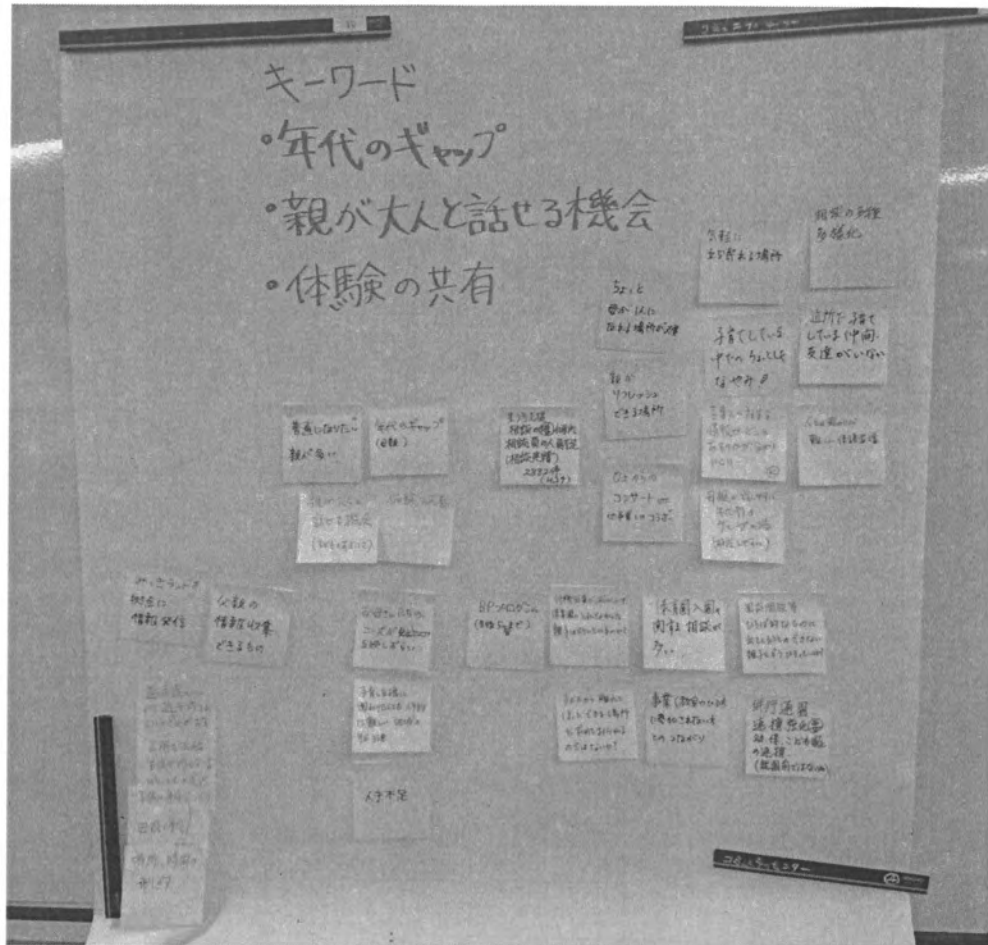
グループB(地域住民)



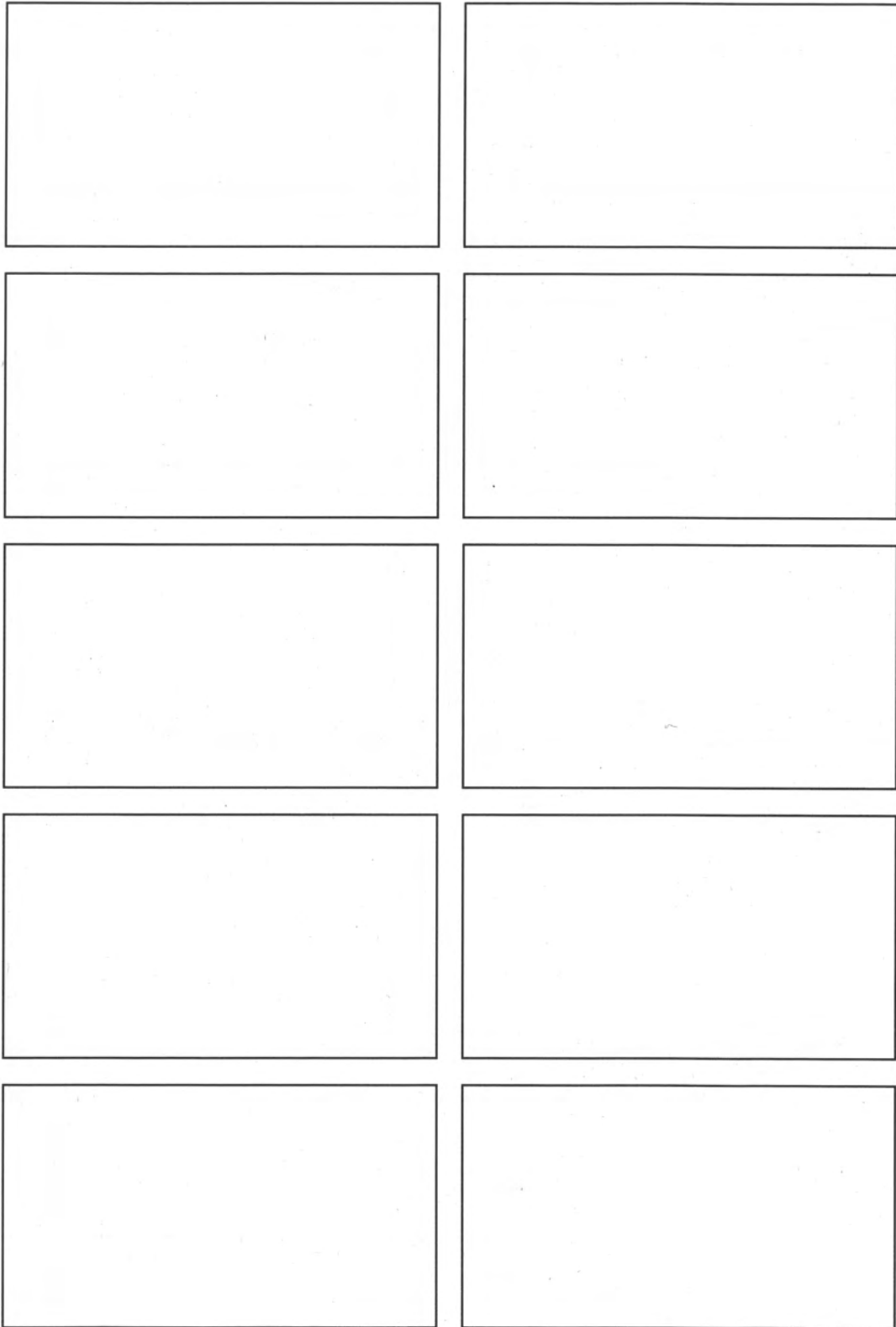
グループC(保育・教育関係)



グループD(市民団体)



第1回ワークショップの様子



2.2 第2回目

(1) 目標

- ・ 支援のためのアイデアを考える

(2) ワークの内容

- ・ 支援のニーズを確認する
- ・ 支援のアイデアを出し合う

※第1回WSをもとに、事務局で設定した2つのテーマ(保護者と大人の交流, 子どもと大人の交流)から自由に選択してもらい、グループを編成

(3) プログラム

- ・ 開会
- ・ 前回の振り返りとプログラムの説明
- ・ 参加者の活動事例の紹介
- ・ コーディネーターからのアドバイス
- ・ グループをつくる
- ・ グループワーク
 - ・ ニーズを確認する
 - ・ 支援のアイデアを出し合う
- ・ グループ発表
- ・ コーディネーターからのコメント
- ・ 閉会・アンケート記入

(4) 出された支援のアイデア

グループ A(保護者と大人の交流)

●何かするにしても情報が得られない

- ・ 情報が得られない
- ・ 子供課の対応？
- ・ ネット上での情報のハブ
- ・ その人その人でおすすめの支援をさがしてあげる
- ・ ワンストップの情報サービス
- ・ 情報の出し方
- ・ 紙モノを見ない→広報のあり方！
- ・ 点が線にならない

➡解決策例

- ・ 出産までの検診などでの情報キャッチ
- ・ 出産前からの繋がり

●人見知り，余裕がない

- ・ 仲良しの関係がつかれないと進まない
- ・ 友達が欲しい！
- ・ 多年齢層での交流の場がないと世界が狭くなる
- ・ 子育てで他への余裕がない
- ・ 人見知りのお母さんをどうするか？
- ・ 人見知り仲介者が欲しい

➡解決策例：冊子

- ・ 発達段階，月齢別の相談チャート
- ・ チャート→占い式？
- ・ 保健師さん，民生委員さん
- ・ セーフティーネット→役所内の繋がり，市民の繋がり

➡全てのママに情報と届ける

●どこで情報提供する??

- ・ 全てのママが絶対に参加する所
 - ・ 自治会館, 空き家
 - ・ 食べ物, 飲み物
 - ・ いろんな年代の交流
 - ・ おばあちゃんも一緒に遊べる
 - ・ 市役所検診
 - ・ 窓口業務→健康課の協力
 - ・ 何か月検診の時に情報を渡す
 - ・ 出生届→窓口での情報提供
 - ・ ベビーカーで買い物が出来る距離の場所
- ・ 問題意識のある人でネットワークをつくる
- ・ お守り

グループB(保護者と大人の交流)

地域の大人が、①家から出られる、②世代交流できる、場所づくり

●地域の大人

- ・ お年寄り
- ・ 先輩
- ・ 行政が(but 人手不足)
- ・ 家庭には訪問できない→民間の誰かが
- ・ 親以外の大人が

●家から出られる、世代交流できる

- ・ 家から出られてもらえるように
- ・ 家庭訪問してサポートできる
- ・ 世代間交流

●場所づくり

- ・ 自治会館
- ・ 保育園
- ・ 空き家
- ・ 幼稚園, こども園
- ・ コミュニティーバス, 交通手段
- ・ 自分の親世代は就労等で忙しい→地域で助け合える場所
- ・ Café
- ・ 老人クラブ? サロン?
- ・ いろんな世代の方が集まれる場所
- ・ 居心地のいい場所
- ・ サードプレイス(第3の居場所)
- ・ 大人と子どもが元気をもらえる場所
- ・ 地域の場所
- ・ 老人のつどい(地域で開催)

●その他

- ・ 押ししてもら→実は助かった
- ・ 親以外の大人とのふれ合い(子どもが)
- ・ 交流できない
 - ・ 子と親
 - ・ 小グループ, 精神的?
- ・ 交通(家から出やすい)

グループC(子どもと大人の交流)

●情報不足

- ・ 生駒で今日、どんな支援があるのか分からない
- ・ スマートフォンでは見にくい

➡情報一元化の対応が出来るアプリ

●場所不足

- ・ 公民館も使いにくい時がある
- ・ 空き家→設備充実が必要(安全対策)
- ・ 駐車場不足

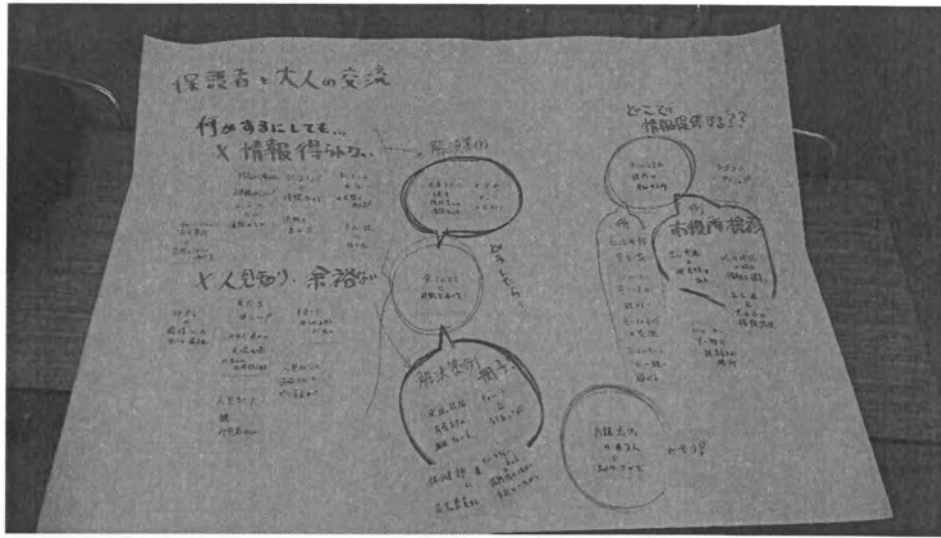
➡幼稚園, 保育園(小学校)

●人材不足

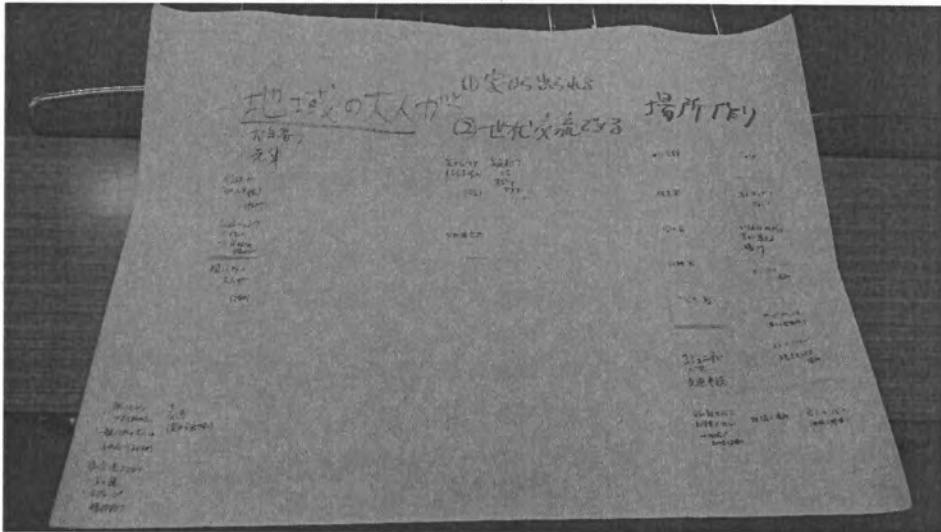
- ・ ボランティアの方は手弁当
- ・ ボランティア人材をまとめる
- ➡・ 幼稚園, 保育園の教諭, 保育士のOBの方の協力(行政の財政支援が必要)
- ・ 寿大学の協力
- ・ 活動されている団体との連携(相互協力)

(5) 成果

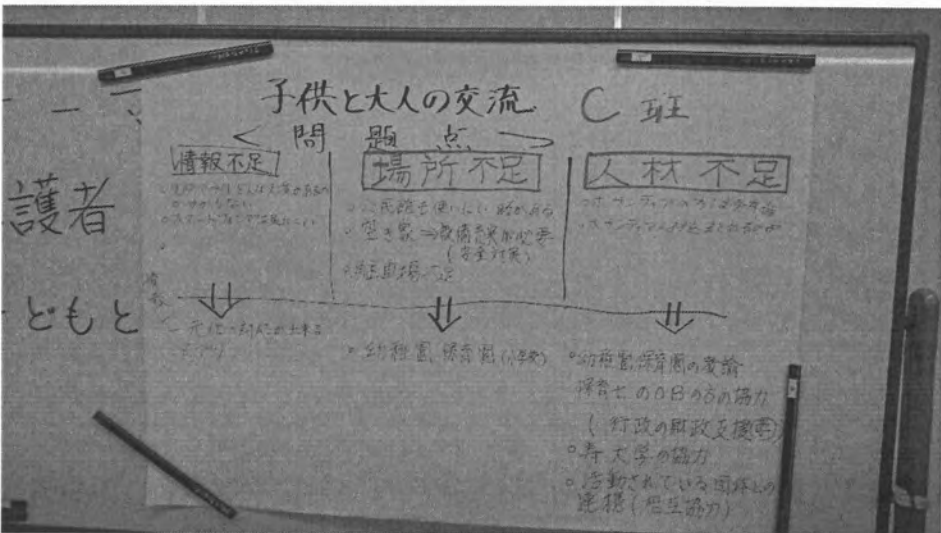
グループA(保護者と大人の交流)



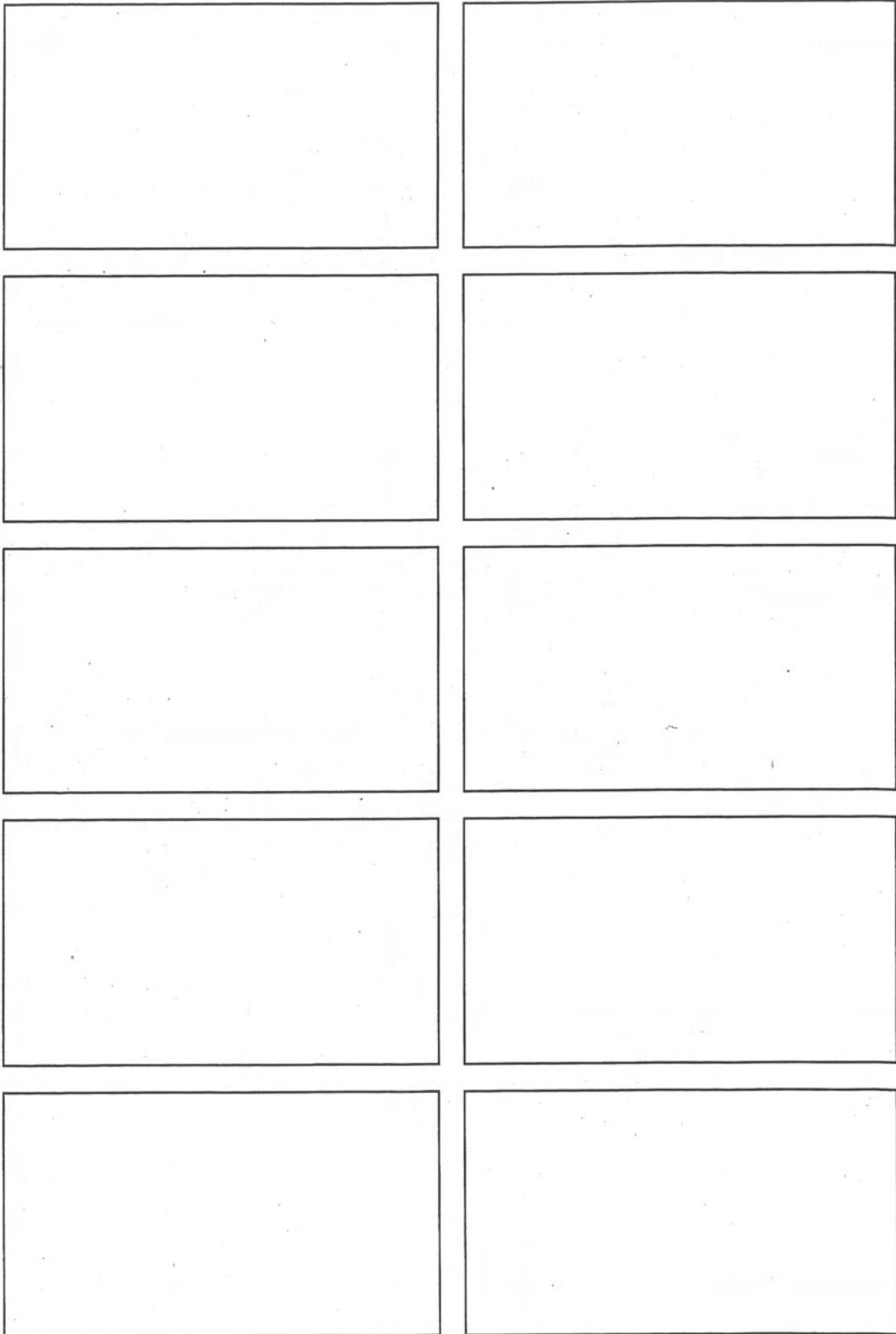
グループB(保護者と大人の交流)



グループC(子どもと大人の交流)



第2回ワークショップの様子



2.3 第3回目

(1) 目標

- ・ 具体的な支援方策の提案をとりまとめる

(2) ワークの内容

- ・ アイデアを形にする方法を考える
(何のために、いつ、どこで、だれが、何を)
- ・ 具体的方策の提案としてとりまとめる
※第2回WS時と同じグループ編成

(3) プログラム

- ・ 開会
- ・ 前回の振り返りとプログラムの説明
- ・ グループワーク
 - ・ アイデアを形にする方法を考える
 - ・ 具体方策の提案として取りまとめる
- ・ グループ発表
- ・ コーディネーターからのコメント
- ・ 閉会・アンケート記入

(4) 成果

グループA(保護者と大人の交流)

第3回 WS ワークシート

取組の名称 おせかい
街のおせかいさん

チーム名
 街のおせかい

1. 取組のねらい

- ママ同士がつながるようになり、仲間をつくる
- ママが必要な情報を得るために、先輩ママや地域住民からアドバイスをもらう

2. 取組の内容

- おせかいさん、健診などに積極的に参加して、子育てに必要なママの声かけや援助をする
- おせかいさんに関する情報を口コミやメールで伝える
- 気軽な作業やママ会をする
- 専門職・有資格者ではなく、一般の人やママ同士が助け合い、情報交換を促進する存在になる

3. 実現のために必要なこと

- おせかいさんマーク(ロゴ)の作成(縦横)
- メンバー確保
- おせかいさんマークとロゴの作成(メール?)
- 最低限の子育て情報を得る講習会への参加

4. 実現に向けて私ができそうなこと

名前	できそうなこと
[黒塗り]	おせかいさんになる(先輩ママ)
[黒塗り]	おせかいさんになる(健診、子育てイベントに参加レポート)
[黒塗り]	おせかいさんになる(先輩ママ)
[黒塗り]	広報活動(民生委員の活動を通して)
[黒塗り]	おせかいさんになる
[黒塗り]	ネットでの広報、場所提供

5. 市に手伝ってほしいこと

- おせかいさんマーク(子育て支援)の作成をお願いしたい
- メンバー確保 PR

第3回 WS ワークシート

取組の名称

幼稚園の空き教室を利用した託児つき地域の集い

チーム名

いこままっち

1. 取組のねらい

- ・未就園児保護者が託児をしながら気軽に集まれる場所づくり
- ・地域の中で声をかけあえる仕組みづくり

2. 取組の内容

- ・月1回幼稚園の空き教室で集いを行う(託児つき)
- ・フリートーク・講座など
- ・申しわけ無しで教員同程度の参加費

3. 実現のために必要なこと

- ・周知方法をどうするか → 民生委員との集りに出む
自治会回覧、広報、HP

4. 実現に向けて私ができそうなこと

名前	できそうなこと
	小学生の学習しやすい環境の家庭で園子育てをトク
	子育て支援センターに何らかの形で参加し、託児集いの中心メンバー活動の担い手としての役割を担う
	保護者向けの体験、親子でできる遊具の提供
	託児、子育て相談相手
	育児、市内の保育園・幼稚園について情報提供
	委託訪問の周知、子育て情報提供

5. 市に手立てほしいこと

- ・場所の提供
- ・周知

グループB(保護者と大人の交流)

グループC(子どもと大人の交流)

フューニセラー

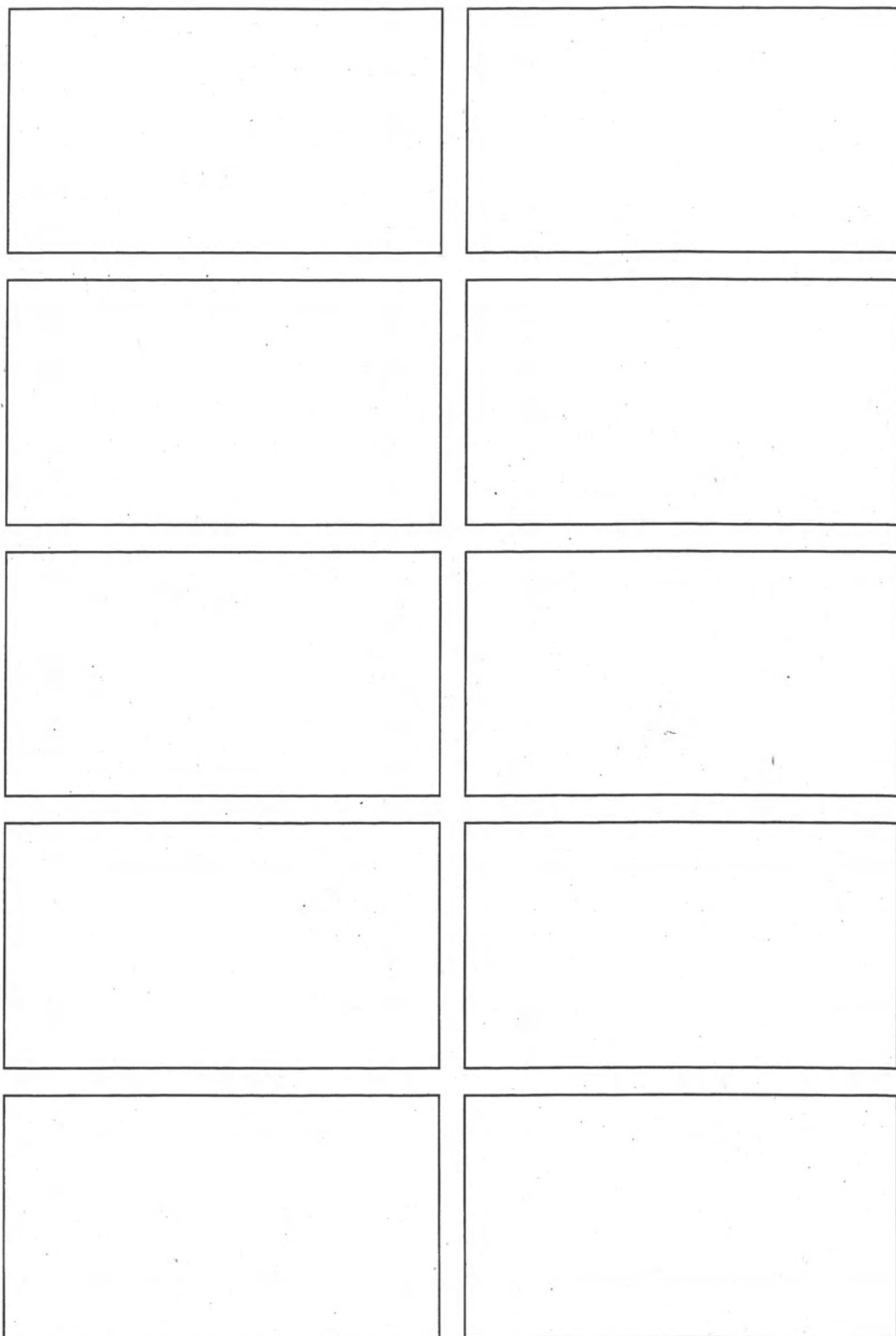
第3回 WS ワークシート

取組の名称 **地域と人をつなぐツイッター活用** チーム名 **#生駒で子育て**

1. 取組のねらい
 - ・情報発信と収集をつなげる。
 - ・身近な情報を広げて共有し、有効に活用できよかに…
2. 取組の内容
 - ・ツイッターの講座をひらく。
 - ・共通のハッシュタグをつくり、団体や市民がそれぞれふか。
 - #生駒で子育て〇〇 (ハッシュタグ)
3. 実現のために必要なこと
 - ・母子手帳発行時にハッシュタグの情報をしほに提示する。
 - 時
 - ・スーパー等にポスターを掲示す。
4. 実現に向けて私ができること

名前	できそうなこと
[Redacted]	生駒の子供の情報を取りかたUPしたり、サイトを見る かんたんにママ友とつな
[Redacted]	ツイッター講座開催を提案 参加 広めていけるようにする。
[Redacted]	生駒の子供の情報を発信する。
[Redacted]	子育て情報(冊子)等を発信する。
[Redacted]	生駒の子供の情報を発信する。
[Redacted]	美作市役所
5. 市に手紙ってほしいこと
 - ・ツイッターについての講座を開催。(幅広い年代の方にも参加を促)

第3回ワークショップの様子



3 まとめ

提案された支援方策は以下の通り。

(1) グループA (保護者と大人の交流)

取組の名称 街のかわいいおせっかいさん	チーム名 チームおせっかい
-------------------------------	-------------------------

1. 取組のねらい <ul style="list-style-type: none">ママ同士がつながるように、仲介者をつくるママが必要な情報を得るために、先輩ママ、地域住民などがアドバイス														
2. 取組の内容 <ul style="list-style-type: none">みっきランド、健診などに待機して、サポートを必要とするママに声かけや援助する市の事業や子育てと情報をロコミレベルで伝達単純な作業のサポートもする専門職、有資格者ではなく、一般の人、普通のママ同士での助け合いや情報交換を促進する存在になる														
3. 実現のために必要なこと <ul style="list-style-type: none">おせっかいさんマーク (ピンクの子連れたけまるくん案)メンバー確保おせっかいさんを必要とするマーク (シール?)最低限の子育て情報を知る講習会のような場														
4. 実現に向けて私ができそうなこと <table border="1"><thead><tr><th>名前</th><th>できそうなこと</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td>おせっかいさんになる (先輩ママ)</td></tr><tr><td></td><td>おせっかいさんになる (健診、子育てイベントに参加しサポート)</td></tr><tr><td></td><td>おせっかいさんになる (先輩ママ)</td></tr><tr><td></td><td>広報活動 (民生委員の活動を通して)</td></tr><tr><td></td><td>おせっかいさんになる</td></tr><tr><td></td><td>ネットでの広報、場所提供</td></tr></tbody></table>	名前	できそうなこと		おせっかいさんになる (先輩ママ)		おせっかいさんになる (健診、子育てイベントに参加しサポート)		おせっかいさんになる (先輩ママ)		広報活動 (民生委員の活動を通して)		おせっかいさんになる		ネットでの広報、場所提供
名前	できそうなこと													
	おせっかいさんになる (先輩ママ)													
	おせっかいさんになる (健診、子育てイベントに参加しサポート)													
	おせっかいさんになる (先輩ママ)													
	広報活動 (民生委員の活動を通して)													
	おせっかいさんになる													
	ネットでの広報、場所提供													
5. 市に手伝ってほしいこと <ul style="list-style-type: none">おせっかいさんマーク (子連れたけまる希望) 作ってください人員確保 PR														

(2) グループB (保護者と大人の交流)

取組の名称

幼稚園の空き教室を利用した託児つき地域の集い

チーム名

いこままち

1. 取組のねらい

- ・ 未就園児の保護者が託児をしてもらいながら気軽に集まれる場所づくり
- ・ 地域の中で声をかけあえる仕組みづくり

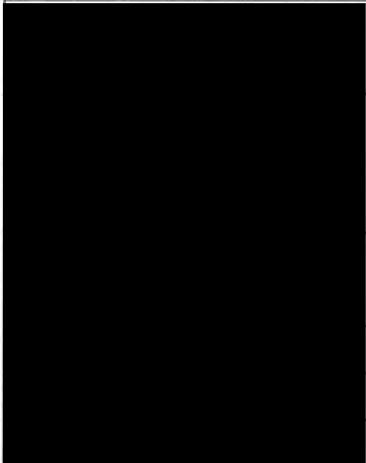
2. 取組の内容

- ・ 月1回幼稚園の空き教室で集いを行う(託児つき)
 - ・ フリートーク・講座など
 - ・ 申込無しで数百円程度の参加費

3. 実現のために必要なこと

- ・ 周知方法をどうするか→民生委員さんの集まりに出向く、自治会回覧、広報、HP

4. 実現に向けて私ができそうなこと

名前	できそうなこと
	小学生として学習しやすくするための家庭での子育て方法トーク
	サークルメンバーに向けて集いの紹介、声かけ、託児、集いの中でサークル活動の紹介、いこま育児ネットの講座の紹介。
	保護者向けの体操、親子でできる運動の提供。
	託児、子育て相談相手
	託児、市内の保育園・幼稚園について情報提供
	赤ちゃん訪問での周知、子育ての情報提供

5. 市に手伝ってほしいこと

- ・ 場所の提供
- ・ 周知

(3) グループC (子どもと大人の交流)

取組の名称

地域と人をつなげるツイッター活用

チーム名

#生駒で子育て

1. 取組のねらい

- ・ 情報発信と収集をつなげる。身近な情報を広げて共有し、有効に活用できるように。

2. 取組の内容

- ・ ツイッターの講座をひらく
- ・ 共通のハッシュタグをつくり、団体や市民がそれぞれつぶやく
“#生駒で子育て” ○○(地域名)

3. 実現のために必要なこと

- ・ 母子手帳発行時にハッシュタグの情報を一緒に提示する。
- ・ スーパーなどにポスターを掲示する

4. 実現に向けて私ができそうなこと

名前	できそうなこと
	生駒の子育て情報をみつけたら UP したり、リツイートをする。ツイッターでもママ友をつくる。
	ツイッター講座開催を提案、参加、広めていけるようにする。
	生駒の子育て情報を発信する。
	子育て情報(相談)等を発信する。
	子育て情報(Templish)等を発信する。
	出かける事が出来ない人への援助
	出張カフェ

5. 市に手伝ってほしいこと

ツイッターについての講座を開催。(幅広い世代の方々に参加を促す)

資料

資料1 ふりかえりシートの主な意見

- ・ 第1回目
- ・ 第2回目
- ・ 第3回目

ふりかえりシート of 主な意見 (第1回)

Q1 このワークショップに期待することを教えてください

- ・ 住んでいる皆がイキイキして、楽しい町で子どもが育てられるよう少しでも協力出来たらと思う。
- ・ もっと子育てしやすい町になること。
- ・ 市の子育て支援がより良くなればいいと思う。
- ・ もっと子育てしやすい環境になればと思う。
- ・ ここでのアイデアが本当に実現できれば。
- ・ 少しでも多くの方が支援の場に出かけられたらいいと思う。
- ・ 方向性だけでなく、実現化
- ・ 子育て支援する側と支援を受けられる側がつながりますように。
- ・ 市民の要望を知り、住民と行政が協働できることが何かを考えたい。
- ・ 子育て中のママたちのニーズに沿って新たな取り組みができたらいと思う。
- ・ 子の育ち、親の育ち、地域力の引き出し
- ・ 普段、生駒に対して思っていることをいろんなジャンルの方と話し合いたい。
- ・ 子育て支援間での情報共有
- ・ 現実に今できる支援をしたいと思う。
- ・ 実現できる、実のあるワークショップになればいいと思う。
- ・ 子育て支援団体の横のつながり
- ・ ただ話すだけでなく、実のあるものになってほしい。

Q2 本日のワークショップはいかがでしたか？

1 どんな出会い・つながりができたか教えてください

- ・ いつも、みっきランドで会う人達と大人の会話ができて楽しかった。
- ・ いろんな立場の方とのつながりになるきっかけができ、思いが共有できた。
- ・ 行政側の現場の取り組みや、悩みが知れました。
- ・ 他の所属団体の方々との情報交換や交流ができた。
- ・ 全く初めてお話しした方がいて、新しい出会いが持てた。
- ・ 育児サークルの意見が良く聞けた。
- ・ 教育関係者・保育関係者とつながりができた。
- ・ 各団体の方に御挨拶できてよかった。
- ・ お寺さん、会社経営者さんと知り合えた。
- ・ 民生委員の方々の具体的な問題点を聞いたことで、今後のつながりを密にしたい。
- ・ 近くの地域での活動、また委員として見学や研修、つながりができ、活動の助けができた。

2 どんな新しい発見や気づきがあったか教えてください

- ・ みんな、悩んでいることは同じだと思った。
- ・ 見る角度が違えば、考えることも異なるので、一緒に考えることで新たな発見につながりそう。
- ・ 他の方の育児支援に対しての考えがたくさん聞けた。
- ・ 支援の場に参加しないママがもっと参加できるようになったらいいと他の方も考えていたので嬉しかった。
- ・ それぞれの立場で違った親子の姿を知ることができた。
- ・ 色々な立場から、子育て中のお母さんお父さんの想いや支援の方の声が聞けた。
- ・ 生駒は都会なようで田舎だということ。「とかいなか」
- ・ 今子育て中の方の希望など、気付かされた。
- ・ 育児ネット、かるがもの会の約20年にわたる取組み、昔のお話をお聞きできて感慨深かった。
- ・ 違う職種の方と話ができて、新しい気付きがあった。
- ・ まだ新米主任児童委員なので、すべてが勉強になった。
- ・ 緊急時の子どもの預かり等、知らなかったことを教えてもらえた。
- ・ 子どもに対して愛情を持って行動されている人がたくさんおられることを嬉しく思った。

3 どんな言葉が心に響いたか教えてください

- ・ 「つながり」は大切。
- ・ D班の「親が同年代の親と話せる機会」というのはいいなと感じた。
- ・ 他の地域の現状が知れて良かった。
- ・ 「とかいなか」生駒は公園が良くない!?
- ・ もっと地域(近場)で交流したい。
- ・ 行政側で、自分たちは取り組んでいるつもりでも市民側にすればまだ足りなかったり、思いとずれているところがあるのだと痛感した。
- ・ 保護者の年代が違う。
- ・ 情報発信と情報を受け取れたかどうかは異なるということ。
- ・ 子ども対象ではなくて、ママ達の世代に合わせた集まり。
- ・ 「子どもの未来の宝」
- ・ 生駒の行政の良さとか思いを感じられた。
- ・ なかなか外に出られない、関わりを持たずにいる親子がいるのが気になるので、その点を少しでもいい方向に持っていけることを考えたい。
- ・ 個人情報の壁をどうするか?
- ・ 参加されている皆様が、子育てに関して熱い思いを持っておられること。
- ・ 熱意を持って活動されている様子が分かり、また悩みなど共通するものがあり、もっとつながっていこうという共通の思いがあった。

4 どんなことが楽しかったか教えてください

- ・ 同じようなことを思っているママが多いということがわかり、親近感がわいた。
- ・ 違う立場の方と話せた。
- ・ 本音で話せて楽しかった。
- ・ 小グループで立場も近い人での構成だったので話しやすかった
- ・ みなさんがよく色々話されていた。
- ・ ママの生の声、行政以外の市内で頑張っている方々の声が聞けたこと。
- ・ 今後自分が自分の立場で何かできないかと考えられたこと。
- ・ 諸団体の皆さんと交流できたこと。
- ・ 民生児童委員、子育て中の方の意見が聞けた。
- ・ 大先輩と同伴で緊張した。先輩方の色々な意見が聞けた。
- ・ 寺田コーディネーターと色々な話が出来た。
- ・ 違う立場で活動されている方の話が聞けた。
- ・ 問題の棚卸。

5 どんなことを意見交換したかったか教えてください

- ・ 次回は全時間参加したい。
- ・ 孤立化しているママたちをどうするか。
- ・ これから何が生駒にとって必要か、ふみ込んだ意見を聞きたかった。
- ・ 普段の活動を通しての話があまり出なかったかと思う。
- ・ 本当に支援してほしい人をどのようにして探すのか。
- ・ 生駒市としては何ができて何ができないのか。
- ・ お互いの活動をもう少し深く知りたかった。
- ・ 全員の発表が終わってから、それぞれのグループに質疑や、グループで振り返りがあればよかった。

ふりかえりシート of 主な意見 (第2回)

Q1 本日のワークショップはいかがでしたか？

1 新しい発見や気づきがあったか教えてください

- ・ KECさんのまとめ方が上手だった。
- ・ 支援の理想があっても、現実的な人員・予算・場所の問題がたくさんでてきたので簡単ではないと思った。
- ・ いろんな立場の方と話せてよかった。
- ・ 知らない制度や規定なども話の中ででてきて勉強になった。
- ・ 親が情報はあっても、支援サービスを受けるまでには、大きな壁があった(訪問)。
- ・ 色々な活動をされている人がいて、場があって、考えてくれている・良くしよう思っている人がいて、親も知る努力をしなくてはと思った。
- ・ 現在の問題点が明らかになった。
- ・ 民生さんの想い、地域での違いがあることを知った。(自身の地域の民生さん知らない)
- ・ 情報の発信の仕方の難しさ(発信源)
- ・ それぞれに得意なことがあって、テーマをしぼるとそれぞれのスキルが出て、とてもスムーズに話が進んだ。
- ・ 地域に集える場所がたくさんあること。
- ・ 情報発信の難しさ

2 どんなことが心に響いたか教えてください

- ・ ボランティアをしている人はいろいろ既にやっているので手いっぱい、負担になると厳しい。
- ・ 家庭訪問はいやだったけど、来てもらったら情報をもらえて、外に出るきっかけができて、実は助かった。
- ・ 正月行事や文化、人生の先輩から得られるものは多いと思う。テンブリッシュのやっていることは非常に興味深い。勉強してそれを自分で説明できる力はすごいなど。
- ・ 老人と子供をつなぐ、情報を提供するコーディネーター。
- ・ ボランティアの方がタクシーを利用して協力して下さっている。負担がのしかかっている。
- ・ 人見知りだったり、一人育児でしんどい思いをしたり、勇気をもって外に出てきた人の想いを知れて、一人でも多くの方が気分軽く過ごせたらと改めて思った。
- ・ 子育て中の保護者の方に寄り添いたいと思う強い気持ち。
- ・ 子育てにおいて、本当にさみしい思いをして今まで頑張ってきていることを聞いて、それをうまく乗り越えられない方に手が届くようにしたいと思った。
- ・ お年寄りも楽しく
- ・ ・すぐに解決できないことも多いが、ともに悩み意見交換することの大切さを改めて感

じた。

3 どんなことが楽しかったか教えてください

- ・ 意見交換が良かった。
- ・ いろんな立場からの意見が聞けて参考になった。
- ・ 同じ問題意識をもって話し合いができたので、楽しかった。
- ・ おとなの人と大人の話ができた。
- ・ 自分が65歳になって今の仕事から新たに地域でできることあるのかな？って思えた。
- ・ 色々な活動を行っておられる方がたくさんいた。
- ・ 他の未就園児のママ達と感じていることが同じだったり、話しやすい雰囲気で見聞の共有ができた。
- ・ 意見が次々と出てきた。
- ・ みなさん、とてもすばらしい活動をされていて、一緒に何かできればとワクワクしている。
- ・ 思ったことを話せる環境だったこと。
- ・ 自分とは違った立場から、子育て支援を頑張っていることを知れたことがとても楽しかった。

4 どんなことを意見交換したかったか教えてください

- ・ 具体的な取り組みをもっとじっくりと聞きたかった。
- ・ 結局、未就園児を持つ親であり外に出ていない人の対策が思いつかなかった。
- ・ 生駒市として取り組んでいる支援サービス
- ・ 体育館を開放してほしい
- ・ 未収園児を預かっている方の具体的な苦勞がわかった。
- ・ 今回はテーマに対する思いの支援レベルだったので、次回より深く掘り下げられたらと思う。
- ・ 具体的な支援

Q2 その他、言い足りなかったことがあれば教えてください

- ・ 場所の提供や誰が、というだけではなく、「何を」の部分をもう少し話してみたい。
- ・ 個人的に問題とと思っていることは、1歳2歳など、出生は生駒市以外で、途中から生駒市に来たママの友達づくりの場が少ないと思う。自分は結婚してずっと生駒でBPプログラムに参加したおかげで友人ができたけど、大きくなった方はどうしているのかなど、他人事ながら心配。
- ・ 体育館を開放してほしい。
- ・ 色々ありすぎて、書けなかった。
- ・ テーマが大きすぎてやりにくかった。